

平成26年度 香川地区 技術開発懇談会を開催

平成26年12月5日に、香川大学との技術開発懇談会を開催しました。

本懇談会は、大学の「研究成果(シーズ)」と四国地整の「事業を進めるために欲しい技術(ニーズ)」をお互いに知ること、双方の研究や事業を効率よく進めるための情報交換の場となっています。

香川地区では、香川大学と、6事務所等のメンバー30名がお互いの成果や、課題について報告し意見交換を行いました。



懇談会会場「香川大学内」

【参加機関】

- 《大 学》 香川大学
- 《四国地整》 四国地方整備局、香川河川国道事務所
四国山地砂防事務所、高松港湾・空港整備事務所
高松港湾空港技術調査事務所、四国技術事務所

大学からは、「DIA作成支援システムについて」「空中電磁探査データに基づく地震による深層崩壊危険度の評価」の発表があり、今後発生するかもしれない大災害を想定した取り組みや研究成果について興味深く聴講しました。

四国地整からは、「浚渫土砂の有効活用」「大規模水害対策検討」の紹介をしたところ、浚渫土の有効活用先のアドバイスや、条件設定の追加などの意見が出され、活発な意見交換となりました。

また、「国土強靱化」について報告したところ、具体的な質問が出され、今後の取り組みの参考になりました。

そのほか、「総合土砂管理対策の取り組み事例報告」「LPデータを活用した河道閉塞規模の推定と応急対策計画の検討」の発表に対しては重要なアドバイスを受けました。

懇談会での発表により、大学・地整の取り組みを双方がよく知り、取り組んでいるテーマに対する貴重なアドバイスを受けることで、今後の業務・研究の参考になることを期待します。